



移杖式では、初めて全校の前で引き継ぎの成果を披露します

開北小学校の伝統の一つに、毎年3月にある移杖式があります。5・6年生が演奏し、

### 鼓笛隊演奏

## 故郷復興への思いのせて

開北小学校の伝統の一つに、毎年3月にある移杖式があります。5・6年生が演奏し、



編集委員 安住麻那、阿部菜珠、木村瑛太、小松彩生、立花風香(6年) 指導教諭 増子稚菜

### 開北小

学校名 石巻市立開北小学校  
所在地 石巻市大橋1の2の1  
電話 0225(96)5401  
校長 庄子 信広  
児童 321人



### 笑顔であいさつ

開北小では、運営委員会を中心に朝のあいさつ運動に取り組んでいます。明るく、笑顔であいさつのあふれる学校を目指し、月・水・金曜日に行います。全校で統一したあいさつのこつがあります。「あいてを見て・いつでも・さきに自分から・つづけよう毎日」です。学校全体が元気なあいさつであふれるように、がんばっていきます。



次回は 大倉小(仙台市) 面瀬小(気仙沼市)

### 実沢小

学校名 仙台市立実沢小学校  
所在地 仙台市泉区実沢一本橋20  
電話 022(379)2418  
校長 加茂 伸一  
児童 14人



### 仲良く全校給食

実沢小は、全校児童が14人なので、給食はランチルームでみんなで一緒に食べています。給食の準備や片づけは、たてわりの班に分かれて協力して行います。1カ月に1度、くじ引きで席替えをして、1年生から6年生まで楽しく話しながら食べています。いろいろな活動を全校で行うことが多いので、みんなとても仲良しです。



全校児童一丸となって取り組んでいます

実沢小学校には「大正時代」に生まれたこの踊り「大正時代」という踊りが受け継がれています。大正時代は、昭和のころ、夏祭りなどで盛んに踊られました。今では、実沢小生が受け継ぎ、地域の「冠のふり」や夏祭りでも披露しています。大正踊りでは、1〜4年生が手踊りを、5年生が扇子踊りを、6年生がおはやしを担当しています。手踊り、扇子踊りでは、手の動きと目線を合わせるのが難しく、おはやしでは、しの笛の息づかいに注意が必要です。毎年、上学年が下学年に教えています。また、法被や着物、花笠など色とりどりの衣装を身に付け、目のふちや鼻に化粧をします。踊るととてもきれいで、楽しそうに見えます。昨年の冠のふりも伝



編集委員 若生美咲(6年) 永沢広夢、伊藤遥都(5年) 指導教諭 八巻紗希子、亀山朱美

### 踊りを伝承

## 色とりどりの衣装で披露

承まつりでは根白石中学校区の各校が伝承する踊りを披露しました。祭りの最後には、留学生との交流もあり、地域だけでなくさまざまな国の人々に私たちの伝統を届けることができました。これからも、実沢小の大正踊りを大切に受け継いでいきたいと思